

令和5年度 音楽科 年間指導計画 第5学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	題材名	時数	題材の目標	他教科等との関連
前期	4	1.歌声をひびかせて心をつなげよう	4	<ul style="list-style-type: none"> 音色、旋律や強弱などと曲想との関わりを理解して、自然で無理のない響きのある歌い方や、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 音色、旋律、強弱などと曲想との関わりを生かして、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 曲の特徴を生かして歌う学習に主体的に取り組み、友達と協働して音楽活動をする楽しさを味わう。 	
	5	2.音の重なりを感じ取ろう	5	<ul style="list-style-type: none"> 旋律、音の重なり、音階や調などと曲想との関わりを理解して、響きを感じ取りながら互いの音や声を合わせて表現する技能を身に付ける。 楽器の音や歌声が重なり合う響き、旋律の重なり方の違いと曲想との関わりについて考え、それらを生かして表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 楽器の音や歌声が重なり合う響きに興味・関心をもち、互いの音を聴き合いながら表現したり味わって聴いたりする学習に主体的に取り組む。 	
	6・7	3.いろいろな音色を感じ取ろう	8	<ul style="list-style-type: none"> 音色、リズム、旋律や音の重なりなどと曲想との関わりを理解して、各声部の楽器の音色や楽器の重なり合う響きに気を付けて音を合わせて演奏する技能や、打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして音楽をつくる技能を身に付ける。 楽器の音の組み合わせ方や重ね方を工夫した演奏の仕方や、反復、呼びかけとこたえ、変化を用いてどのようにまとまりのある音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 友達と協働して音を合わせて表現したり、様々な楽器の響きに気を付けてオーケストラの音楽を聴いたりする学習の楽しさを味わって主体的に取り組む。 	
	8・9・10	4.和音の移り変わりを感じ取ろう	6	<ul style="list-style-type: none"> 旋律、I、IV、V及びV7の和音の響き、調や音の重なりなどと曲想との関わりを理解して、和音の移り変わりに気を付けたり、互いの声や音を聴き合ったりして表現する技能を身に付ける。 和音の響きやその移り変わり、呼びかけとこたえについて聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考えながら、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 友達と協働して、和音の響きやその移りわりを感じ取って表現する学習を通して、和音の響きへの興味・関心を深める。 	
後期	10	5.曲想の変化を感じ取ろう	6	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音色、リズム、旋律、強弱や歌詞の内容などとの関わりを理解して、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方や、声や楽器の重なり合う響きに気を付けながら声や楽器の音を合わせて表現する技能を身に付ける。 曲想とリズム、旋律や音の重なりなどとの関わりを生かして、歌い方や演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 曲想の変化を感じ取り、友達と協働して歌ったり合奏したりする学習に主体的に取り組む。 	
	11・12	6.詩と音楽の関わりを味わおう	7	<ul style="list-style-type: none"> 音色、リズム、旋律、フレーズや歌詞の内容などと曲想との関わりを理解して、言葉や歌詞、旋律のまとまりに気を付けて歌う技能を身に付ける。 言葉の感じと旋律、歌詞の内容と曲想との関わりを考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり、歌詞の表す情景を思い浮かべながら言葉や歌詞、旋律のまとまりを生かした歌い方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったりする。 友達と協働して、詩と音楽の結び付きについて考える学習を通して、日本の歌曲など、様々な音楽への興味・関心を深める。 	
	1	7.日本の音楽に親しもう	7	<ul style="list-style-type: none"> 音色や旋律、音階、拍などと曲想との関わりを理解して、日本の旋律の特徴に合った歌い方や、日本の音階を用いてまとまりのある音楽をつくる技能を身に付ける。 音色や旋律、音階、拍などと曲想との関わりについて考え、それらが生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり、それらを生かした歌い方や、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて、思いや意図をもったりする。 日本の音楽の特徴を味わって、それを生かした表現をしたり、日本の音楽のよさなどを味わいながら聴いたりする学習を通して、日本の様々な音楽への興味・関心を深める。 	
	2・3	8.思いを表現に生かさそう 国歌・校歌	7	<ul style="list-style-type: none"> 音色、強弱、音の重なりや歌詞の内容などと曲想との関わりを理解して、音楽の盛り上がりや歌詞の表す気持ちを表情豊かに伝えるために必要な表現の技能を身に付ける。 楽器の重なり合う響き、曲の山、旋律や歌詞の内容などと曲想との関わりを考え、それらに合った表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 今までに習ったことを生かして、友達と一緒に思いが伝わるように音や声を合わせて表現する学習の楽しさを味わいながら主体的に取り組む。 国歌の大切さを理解するとともに、国歌「君が代」の歌詞や旋律を正しく歌う。 	
年間指導計画			50		